

令和5年7～9月期の大型コンクリート製品の出荷状況は、前年比でマイナス10%となっている。

出荷の内訳は、ダム監査廊が51%で、内ヶ谷ダム(岐阜県)・成瀬ダム(東北地整)・鶴川ダム(新潟県)・足羽川ダム(福井県)に納入された。次いで、スノーシェット<sup>®</sup>、スノーシェルター類が41%で、長岡国道管内の国道289号4号スノーシェッド上部工事に納入された。残りとなる8%は、大型ボックスカルバート類となり加賀拡幅や津波倉・西島道路改良に納入された。他、長尺側溝類、大型BOX類、コンクリート舗装版の納入は無い。

また、大型製品の対象とはならないが、河川護岸の整備・強化等への出荷はある。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千t)

県名	令和4 年度計	令和5年度				累計	備考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
新潟県	▲66 1.80	+161 1.54	▲29 0.47				
富山県	+152 1.56	▲46 0.35	▲4 0.58				
石川県	▲∞ 0.00	▲∞ 0.00	+100 0.08				
3県計	▲17 3.36	+52 1.89	▲10 1.13				

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシェット<sup>®</sup>、スノーシェルターをいう。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>